



# 朝一小だより

活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和5年6月1日

児童数 582名



## 学校の担う機能とは2

校長 金子 二郎

6月の声を待たずに地域によっては猛暑日を記録したとの報道がある一方、梅雨の先触れのような雨の日には半袖では肌寒さを感じられる日もあります。保護者や地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。先月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、徐々にではありますがこれまで見送らざるを得なかった様々な教育活動が再開され、子供たちの笑い声が今まで以上に校内に響いています。



私自身は、学校に来て子供たちの笑顔を目にし、他愛のない会話をするようなごく普通の日々を過ごすのが



好きです。ただ「なんで学校に行かなくちゃいけないの」という子供の素朴な質問に、的確に答えることは意外と難しいものです。子供が学校で学ぶということはどのような意味があるのでしょうか。教育社会学の広田照幸日本大学教授はその著書「学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか」の中で、学校で教えらるる知識(学校知)について次のように説明しています。「子どもたちが学校であたりまえのように学んでいる国語は、

日常生活であまり使わない言葉も含めて、私たちが言葉を使いこなせるようになるためのものです。算数や数学は、世界を数量的に理解する、あるいは図形的に理解する時の道具です。地理は、今生きている世界をもっと広げて知ることになるし、歴史は、時間軸で過去にさかのぼって、私たちを知ることになります。(中略)学校で教えられているカリキュラムは、「この世界が何なのか」について縮約・再構成された知識や文化であり、あるいは、それをベースにした技能の習得のようなものです。ですから、日常の生活世界での経験では学べないものが、「カリキュラム化された知」として学校で学べます。そこでは、親や友だちからは学べないような種類の知を学ぶこともできます。(中略)ただし、学校知は、仕事に役に立つこともあれば、当然、役に立たないこともあります。なぜならば、「世界とは何か」を学ぶのであって、職業人の育成のためだけに学校があるわけではないからです。(中略)「世界の縮図」としての知を学校で学ぶことによって、子どもたちは生まれ育った狭い世界から抜け出して、より広い世界に出ていきます。人生のさまざまな生き方の可能性を、学校は与えてくれるわけです。それは職業的に役立つ側面もあるし、それだけではなく、市民として、あるいは個人として生きていく生活全般に関わる、基礎的なものを提供してくれるのです。」広田教授の説明に、改めて背筋が伸びる思いがします。単なる知識であればわざわざ学校に来なくとも、例えばインターネットを通じて具体的でわかりやすいコンテンツを容易に手に入れることができます。つまり、学校においてのみ提供できるものが本来の学校知であり、それを提供するためにこれまで以上に努力していくことが求められているからです。また、コロナ禍では感染症対策により控えてきた多様な他者と交わる活動や多様な体験活動を、保護者や地域の皆様のお力添えにより実現することができればとも願っています。子供たちの無限の可能性を引き出すことができる、一小ならではの生きた学校知を私たちはめざしてまいります。



日常生活であまり使わない言葉も含めて、私たちが言葉を使いこなせるようになるためのものです。算数や数学は、世界を数量的に理解する、あるいは図形的に理解する時の道具です。地理は、今生きている世界をもっと広げて知ることになるし、歴史は、時間軸で過去にさかのぼって、私たちを知ることになります。(中略)学校で教えられているカリキュラムは、「この世界が何なのか」について縮約・再構成された知識や文化であり、あるいは、それをベースにした技能の習得のようなものです。ですから、日常の生活世界での経験では学べないものが、「カリキュラム化された知」として学校で学べます。そこでは、親や友だちからは学べないような種類の知を学ぶこともできます。(中略)ただし、学校知は、仕事に役に立つこともあれば、当然、役に立たないこともあります。なぜならば、「世界とは何か」を学ぶのであって、職業人の育成のためだけに学校があるわけではないからです。(中略)「世界の縮図」としての知を学校で学ぶことによって、子どもたちは生まれ育った狭い世界から抜け出して、より広い世界に出ていきます。人生のさまざまな生き方の可能性を、学校は与えてくれるわけです。それは職業的に役立つ側面もあるし、それだけではなく、市民として、あるいは個人として生きていく生活全般に関わる、基礎的なものを提供してくれるのです。」広田教授の説明に、改めて背筋が伸びる思いがします。単なる知識であればわざわざ学校に来なくとも、例えばインターネットを通じて具体的でわかりやすいコンテンツを容易に手に入れることができます。つまり、学校においてのみ提供できるものが本来の学校知であり、それを提供するためにこれまで以上に努力していくことが求められているからです。また、コロナ禍では感染症対策により控えてきた多様な他者と交わる活動や多様な体験活動を、保護者や地域の皆様のお力添えにより実現することができればとも願っています。子供たちの無限の可能性を引き出すことができる、一小ならではの生きた学校知を私たちはめざしてまいります。

日常生活であまり使わない言葉も含めて、私たちが言葉を使いこなせるようになるためのものです。算数や数学は、世界を数量的に理解する、あるいは図形的に理解する時の道具です。地理は、今生きている世界をもっと広げて知ることになるし、歴史は、時間軸で過去にさかのぼって、私たちを知ることになります。(中略)学校で教えられているカリキュラムは、「この世界が何なのか」について縮約・再構成された知識や文化であり、あるいは、それをベースにした技能の習得のようなものです。ですから、日常の生活世界での経験では学べないものが、「カリキュラム化された知」として学校で学べます。そこでは、親や友だちからは学べないような種類の知を学ぶこともできます。(中略)ただし、学校知は、仕事に役に立つこともあれば、当然、役に立たないこともあります。なぜならば、「世界とは何か」を学ぶのであって、職業人の育成のためだけに学校があるわけではないからです。(中略)「世界の縮図」としての知を学校で学ぶことによって、子どもたちは生まれ育った狭い世界から抜け出して、より広い世界に出ていきます。人生のさまざまな生き方の可能性を、学校は与えてくれるわけです。それは職業的に役立つ側面もあるし、それだけではなく、市民として、あるいは個人として生きていく生活全般に関わる、基礎的なものを提供してくれるのです。」広田教授の説明に、改めて背筋が伸びる思いがします。単なる知識であればわざわざ学校に来なくとも、例えばインターネットを通じて具体的でわかりやすいコンテンツを容易に手に入れることができます。つまり、学校においてのみ提供できるものが本来の学校知であり、それを提供するためにこれまで以上に努力していくことが求められているからです。また、コロナ禍では感染症対策により控えてきた多様な他者と交わる活動や多様な体験活動を、保護者や地域の皆様のお力添えにより実現することができればとも願っています。子供たちの無限の可能性を引き出すことができる、一小ならではの生きた学校知を私たちはめざしてまいります。



日常生活であまり使わない言葉も含めて、私たちが言葉を使いこなせるようになるためのものです。算数や数学は、世界を数量的に理解する、あるいは図形的に理解する時の道具です。地理は、今生きている世界をもっと広げて知ることになるし、歴史は、時間軸で過去にさかのぼって、私たちを知ることになります。(中略)学校で教えられているカリキュラムは、「この世界が何なのか」について縮約・再構成された知識や文化であり、あるいは、それをベースにした技能の習得のようなものです。ですから、日常の生活世界での経験では学べないものが、「カリキュラム化された知」として学校で学べます。そこでは、親や友だちからは学べないような種類の知を学ぶこともできます。(中略)ただし、学校知は、仕事に役に立つこともあれば、当然、役に立たないこともあります。なぜならば、「世界とは何か」を学ぶのであって、職業人の育成のためだけに学校があるわけではないからです。(中略)「世界の縮図」としての知を学校で学ぶことによって、子どもたちは生まれ育った狭い世界から抜け出して、より広い世界に出ていきます。人生のさまざまな生き方の可能性を、学校は与えてくれるわけです。それは職業的に役立つ側面もあるし、それだけではなく、市民として、あるいは個人として生きていく生活全般に関わる、基礎的なものを提供してくれるのです。」広田教授の説明に、改めて背筋が伸びる思いがします。単なる知識であればわざわざ学校に来なくとも、例えばインターネットを通じて具体的でわかりやすいコンテンツを容易に手に入れることができます。つまり、学校においてのみ提供できるものが本来の学校知であり、それを提供するためにこれまで以上に努力していくことが求められているからです。また、コロナ禍では感染症対策により控えてきた多様な他者と交わる活動や多様な体験活動を、保護者や地域の皆様のお力添えにより実現することができればとも願っています。子供たちの無限の可能性を引き出すことができる、一小ならではの生きた学校知を私たちはめざしてまいります。

子供はしっかりとした基準を与えなくてはなりません。つまり子供部屋とか玩具とか学校とか一緒に暮らす人が遊びだとかを。(F・サカ)